

山口県獣医師会会報

Monthly Report of the Yamaguchi
Veterinary Medical Association

第 728 号 令和 4 年 1 月

謹 賀 新 年

新 年 の ご 挨拶

会長 田 中 尚 秋



敬頌新禧 会員の皆様方をはじめ関係各位におかれましては、ご清栄にて新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。本年も皆様方のご健勝にてご活躍くださいますことを心からお祈り申し上げます。

旧年中は、本会諸事業の運営・推進に当たり格別のご厚誼・ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。一昨年に続き昨年も新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大により多くの行事が書面開催やWebを併用してのハイブリット方式での開催を余儀なくされました。そのような中、学術団体であることを標榜する本会にとりましてメインの事業である県学会を、8月末に対面で開催することができました。3密を避け、参加者の体調の自己申告をしていただく等、感染防止対策に留意しながら開催し、一人の感染者も出さずに終えることが出来たことは誠に幸いでありました。新しい生活様式が提唱され、東京オリンピックや、パラリンピックをはじめ、様々なスポーツ競技も無観客で行われるなど、今までにないスタイルが定着いたしました。秋から冬にかけては新規感染者数が激減し、以前の生活スタイルに戻るかもと淡い期待を抱いたところですが、11月中旬、以前から危惧されていた新しい変異株が確認され、再び懸念材料となっています。このたびのオミクロン株は感染力が強いと言われており、ワクチン接種者でも罹患していることから、今後、さらに注意深く見守っていく必要があると感じているところです。

さて、本年は、当会にとりまして10年に一度の大事業であります獣医学術中国地区学会・中国地区獣医師大会を担当主催で開催しなければならない年であります。11月11日(金)～13日(日)には(公社)日本獣医師会主催(以下「日獣」)の第21回アジア獣医師会連合(FAVA)大会ならびに第40回日本獣医師会獣医学術学会年次大会(令和4年度)が、福岡県のヒルトン福岡シーホークで開催されます。年次大会が例年より2か月も早いため、恒例の山口県獣医学会は開催しないこととし、9月3日(土)～4日(日)開催の中国地区学会で直接ご発表いただくことといたしました。例年どおり多くの学術研究をご発表いただきますようよろしくお願い申し上げます。

愛玩動物看護師法がよいよ本年5月1日から施行されます。講習会、予備試験等も計画されており、令和5年2月末～3月頃には第1回愛玩動物国家試験が実施される予定であります。新しい愛玩動物看護師の誕生に向けて、本会としてもできる限りの支援・協力

をして参りたいと考えているところです。

また、「動物の愛護及び管理に関する法律等の一部を改正する法律」に基づく犬猫等販売業者へのマイクロチップの装着、情報登録の義務化(犬猫販売業者以外については、装着は努力規定、登録は義務化)がよいよ本年6月から施行されます。日獣が唯一の法定指定登録機関となったところですが、地方獣医師会、構成会員等が検索できないなど、我々が当初抱いていた構想とはいささかかけ離れたシステムとなってしまったことは残念なことであり、今後、少しでもいい方向に進めるよう我々も努力していきたいと思っているところです。

産業動物分野では、昨年末から高病原性鳥インフルエンザの感染拡大が続いており予断を許さない状況になってきました。CSF(豚熱)についても、ワクチン接種や飼養衛生管理の向上等、関係各位の懸命な努力が続けられているものの、なかなか終息までには至らず、さらにはグローバル化が進んでいる現在、口蹄疫やASF(アフリカ豚熱)など越境性感染症の侵入も危惧されます。それらの防疫に気が抜けない家畜衛生分野の先生方の激務、ご心痛・ご労苦に思いを馳せ、深く敬意を表したいと存じます。

本会が事業の3本柱として取り組んでいるOne Healthの推進、マイクロチップ装着の普及推進、災害時における動物救護対策等の事業ですが、特に、このところの地震の頻発、異常気象による集中豪雨等、いつ災害が発生してもおかしくない状況が続いている中で、昨年は熊毛支部管内で光市との災害時対応の協定が結ばれ、あるいは山陽小野田市では行政関与による災害発生時の犬の同行避難訓練が開催されました。災害時対応に係る動きがようやく「形」として見えるようになってきたと喜ばしく感じておりますし、獣医師会館の建設問題も検討を始めることとしており、これらについて本年はさらに進展できればと考えているところです。

ところで、今年の干支は「壬・寅(みずのえ・とら)」になるのだとか、厳しい冬を越えて芽吹きはじめ、新しい成長の礎となるイメージとのことであり、新型コロナの災禍を乗り越えて日本が、元通りの日常が帰ってきますように願いをかけたいと思います。

会員諸氏をはじめ、関係各位の一層のご支援・ご協力・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



新年のご挨拶

山口県獣医師会の皆様、新年明けましておめでとうございます。令和4年を迎えるにあたり、昨年のご報告と今年の抱負を述べさせていただきます。

令和3年は大学教育にとって、コロナ禍との共存と教育研究継続への取組が試される年となりました。コロナ感染は2020年10月の第3波から、2021年の4波、5波へとその広がりを見せましたが、幸いにも、共同獣医学部から一人の感染者も出ることなく乗り切ることができました。そして2021年10月以降は落ち着きを見せ、キャンパス内も通常生活に戻りつつあります。しかし、第6波の到来が予想されることなどから、気を緩めることなく、マスク着用と3密回避などのニューノーマル生活を継続しているところです。

さて、共同獣医学部では、2019年の欧州獣医学教育機関協会(EAEVE)認証取得後も、その成果を武器に様々な取組にチャレンジし、着実に成果を出しています。2020年末には、日本学術振興会の「大学の世界展開力強化事業」に採択され、「アジア・アフリカにおけるOne Health問題の解決に向けた感染症対策を担う獣医師育成プログラム」を開始しています。本事業は、共同獣医学部とケニアのナイロビ大学獣医学部の連携を軸に、アジア・アフリカにおける獣医学教育・研究の連

山口大学共同獣医学部 学部長 佐藤 晃 一

携を進展させ、One Healthに関する諸問題のうち「感染症」に焦点を絞り、学生が相互交流によりグローバルな視点から学ぶことで、この分野に貢献する獣医師を育成するプログラムの構築を目指しています。

また、去年は文部科学省の「デジタルを活用した大学・高専教育高度化プラン(Plus-DX事業)」に採択され、懸案事項であった遠隔講義システムの斉更新が可能となりました。本事業ではVR (Virtual Reality)を用いた実験・実習の導入を目的とする「デジタル技術を活用した知の教授と技の伝承による智の育成」として、さまざまなVRコンテンツの作成に加え、3次元ホログラムと5G高速通信を使ったMR (Mixed Reality:複合現実)による実習システムの構築など、近未来的な実習の在り方にもチャレンジすることになります。

このように、共同獣医学部ではコロナ禍においても学生を第一義とした体制を構築し、より良い教育研究環境を提供できるように様々な取組を行っています。山口県獣医師会はじめ学外諸機関の皆様には、今後も様々な場面で連携をお願いすることになりますが、引き続きご協力とご指導を賜れば幸甚です。

最後になりますが、令和4年が皆様にとって幸多き一年となりますよう、祈念いたしております。



新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、平素から畜産の振興に格別の御理解と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年11月に秋田県の養鶏場で高病原性鳥インフルエンザが発生し、その後、日本各地で感染が確認され、46万羽を超える家きんが殺処分されています。

これに加え、宮崎県や鹿児島県では、野鳥等からウイルスが検出されていることから、国は、渡り鳥が池、干潟等に飛来するこの時期は、全国どの地域においてもウイルスが持ち込まれる可能性が高く、監視体制強化の徹底が必要との見解を示しています。

県では、今シーズンの国内発生を踏まえ、県内家きん農場への立入検査を実施し、飼養衛生管理基準の遵守や早期発見・早期通報等を徹底するとともに、近隣の広島県での発生を受け、養鶏場の緊急消毒を実施したところです。

さらに、万が一県内で発生した場合に備え、初動防疫に必要な防疫資材の備蓄や、防疫作業を円滑に行うための資機材供給業者等との防疫協定締結による危機

山口県畜産振興課長 小川 賀 雄

管理体制の整備を行っています。

一方、国内では養豚農場や野生いのししにおいて豚熱が継続的に発生していることから、これまで行ってきた飼養豚や死亡いのししのモニタリング検査の対象に、一般社団法人山口県猟友会の御協力のもと、捕獲いのししを加えるなど、監視体制の一層の強化を図っています。

この他、アフリカ豚熱については国内での発生はないものの、東アジア地域では続発しており、予断を許さない状況が続いております。

このため、今後も気を緩めることなく、生産者や関係機関、行政が一体となって家畜防疫対策に取り組んでいくことが、大変重要と考えておりますので、高い見識と技術を有する会員の皆様の御支援、御協力をいただきますようお願い申し上げます。

終わりに、山口県獣医師会の今後益々の御発展と会員の皆様方の御健勝、御活躍を祈念し、新年の御挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

山口県環境生活部生活衛生課長 櫻井 晋次郎

新年あけましておめでとうございます。
会員の皆様方におかれましては、新年を健やかに
迎えることと、心よりお慶び申し上げます。

新年に当たり、当課の主な業務動向を紹介し、挨拶
とさせていただきます。

令和元年度から世界中に甚大な影響を及ぼしている
新型コロナウイルス感染症の流行は、収束の目途が立
たない状況にあり、当課においても、昨年はその対応
に明け暮れた年となりました。

こうした中、県民が安心して飲食店を利用できる環
境づくりを推進するため、県が定める感染防止対策を
実施している飲食店を「やまぐち安心飲食店」として認
証する制度を創設しました。

皆様におかれましては、外食する際は、感染防止対
策に取り組む「やまぐち安心飲食店」を積極的に利用す
るとともに、飲食店から求められる感染防止対策に御
協力頂きますようお願いいたします。

また、食品衛生関係では、昨年6月、改正食品衛生
法に基づく食品事業者によるHACCPに沿った衛生
管理が全面的に適用されました。県では、事業者によ
る適切な衛生管理の実施について、引き続き指導、助
言を行っていくこととしています。

次に、動物の愛護管理関係については、令和元年6
月に改正された動物愛護管理法に基づき、今年6月か

ら、第一種動物取扱業の飼養施設の構造、繁殖方法等
の基準の明確化、犬猫販売業者へのマイクロチップ装
着義務が全面的に適用されることとなります。また、
一般の所有者のマイクロチップ装着等の努力義務も適
用されます。

県としては、改正法の施行に向け、第一種動物取扱
業者に対する監視・指導を強化するとともに、貴会と
一体となって、飼主へのマイクロチップの装着の周知
等を図っていきたくと考えています。

また、昨年、災害時における被災動物の救護体制の
整備を進めるため、貴会及び山陽小野田市等と共催で、
山口東京理科大学におけるペットとの同行避難訓練を
実施しました。当日は、約120名の参加者のうち、8名
の方が犬や猫と一緒に参加され、避難所では、動物の
収容方法の確認や、家庭で犬をケージに収容する訓練
のデモンストレーションのほか、野見山先生の御協力
を得て、ペットの健康相談窓口も開設することができ、
大変意義のある訓練となりました。

今後とも、貴会との連携を図りながら、本県動物愛
護管理行政をより一層推進していきたいと思ってお
りますので、御理解と御協力をお願い申し上げます。

終わりに、公益社団法人山口県獣医師会のますます
の御発展と、皆様の御健勝、御多幸を祈念し、新年の
挨拶とさせていただきます。

謹んで新年のご祝詞を申し上げます

旧年中の御厚誼を深く感謝いたしますと共に本年も何卒よろしく御指導と御鞭撻
を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年（2022年）

理事

会長理事 田中 尚秋
副会長理事 白永 伸行
常務理事 酒井 理
理事 石井 俊昭
大石 大樹
河上 茂
後藤 孝一
佐伯 優紀 恵
高橋 学
中村 滋
新田 直正
松延 佐知子
脇本 雄樹

監事

白銀 政利
水原 孝之
柳澤 郁成

支部長

岩 柳 奥原 達朗
熊 毛 河村 和俊
徳 山 三谷 恭二
防 府 中野 正司
山 口 藤原 宣義
美 祢 吉村 正道
宇部厚狭 米澤 弘雄
長 北 上村 光昭
豊 浦 水藤 創
下 関 山中 俊樹
県 庁 小川 賀雄
山口大学 高木 光博

部会長

産業動物部会 大石 大樹
小動物部会 大黒屋 勉
獣医公衆衛生部会 殿河内英雄

会報編集委員

上田 晋平 羽迫 広人
笠井 亨浩 古澤 剛
鹿島 貴朗 三谷 藍
上林 聡之 山下 太郎
坂田 芳則 吉村 大一郎
菅原 淳也 酒井 理
鶴田 祐哉

年男・年女の抱負



6回目の「年男」を迎えて

徳山支部 武 居 治 義
(武居動物病院)

新年明けましておめでとうございます。

月日が経つのは早いもので6回目の年男を迎えることになりました。父が動物病院を開業しておりましたので、子供のころから父の仕事を身近に見ていてなんとなく自分も獣医師になりたいと思い、今は父の跡を継いで小動物診療を46年間続けております。

近年心身共に老いを感じていますが、急に仕事を辞めてもする事がないし、認知症予防の為にボツボツ仕事をしています。趣味と実益と運動を兼ねて家庭菜園で野菜を栽培しています。化学肥料は使わずに有機配合肥料と有機石灰、腐葉土を混ぜて土づくりをしています。

無農薬栽培が理想ではありますが、実際の所、完全無農薬では野菜はできませんので、減農薬を心がけて栽培しています。ウィズコロナの時代でもありますので、畑のウイルス、細菌、寄生虫ともウィズしてやってゆこうと思っています。

最後に、皆様のご健康とご多幸を祈念しまして新年の抱負とさせていただきます。



年女の抱負

徳山支部 田 中 和 子

令和4年は「五黄の寅年」

九星気学では帝王を意味し、強い運勢を誇るとされる「五黄土星」と十二支で強い金運力をもつとされる「寅」が重なる金運奇跡の年。この好機が訪れるのは36年に一度。

昭和25年生まれの私は五黄の寅年生まれです。前回の五黄の寅年の時は家を建てました。

さて今年はどういいますと・・・

小さな希望といえばスマホの使いこなしですかね。10年前の雑誌の「達人に学ぶスマホ術」では、勤務先、自宅のPC、スマホを同期していつでも仕事とか 短い文章は音声で入力してコピーで文章を作成するとか 書いてあるけれどもまあ無理です。

せめて出来そうなことと言えば、バスアプリを使ってバスの時刻表を調べるとか・・・

ところで防長バスはバスアプリを出しているのですかね。スイカが使えない空白地域の住人はつらいよ。



年男の抱負

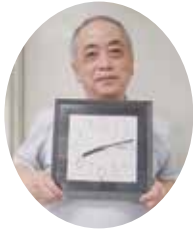
山口支部 羽 鳥 誠 一

明けましておめでとうございます。

6度目の年男を迎え、この年まで元気に過ごすことができたこと、支えてくれた家族や仕事に関わった人、獣医師会の方々等に改めて感謝申し上げます。

3年前からJAF(日本自動車連盟)に加入、最新ナビ・ドライブレコーダーも装着し、妻と共に日本各地を旅行しています。3年前は孫が居る東北地方(岩手・青森・秋田)・金沢、一昨年は立山・信州・高山、昨年は小豆島・別子銅山・松山などを旅行しました。今年は、これまで行ったことがない北海道や高野山などに行こうかと、話し合っています。

ところで、最新のJAFメイトに「重大事故につながる運転中の体調急変」についての特集記事が載っていました。70才を越え高齢者の事故が増大する昨今、「10年間で交通事故件数は半減するも、発作・急病による事故は横ばい、死亡事故率は10倍」との内容に驚愕しました。運転前のセルフチェック(体調に異変・違和感はないか。疲労やストレスはないか。運転スケジュールに無理はないか他。)に留意し、改めて安全運転に努めるよう気を引締めて行動するつもりです。



センスのない古時計

岩柳支部 森 崎 次 郎

(森崎動物病院)

新年あけましておめでとうございます。「年男の抱負」ということで去年までは他人事であった「還暦」を迎えることとなりました。私は新しく何かを始めたことなどはないのですが、高血圧の薬が増え、タバコを半年前に止めました。もともと高血圧や不整脈もあり、医師からは「仕事を辞めてストレス解消、すこしボケれば血圧なんてすぐ下がる。」と言われていました。

私には大学を卒業して、小動物獣医師としてスタートした時に、初めて自分で買った掛け時計があります。ホームセンターで購入したMaruman社製の安時計です。当時「社会人になったのだから・・・。」という気負いもあったのかもしれません。その掛け時計はセンスがなくて、今ではとてもリビングや動物病院に掛けられるような代物ではないのですが、34年間私の部屋で時を正確に刻んでいます。掛け時計は一年に一度電池切れで止まってしまいます。「どうとう壊れたかな？」と毎回心配するのですが、電池を入れ替えると、再び動き始めてホッとします。

皆様にも、獣医師になったときに買ったもの、記念となるものがありますか？



年 男 の 抱 負

宇部厚狭支部 高 場 克 巳

(空港通りペットホテル&ヘルスケア)

みなさま、明けましておめでとうございます。今年がみなさまにとって幸多き年でありますよう心から祈っております。

今回、事務局より、「年男・年女の抱負」というお題で原稿の依頼をいただきました。干支の年ということで年神様のご加護が厚く受け、何をすることもラッキーな年といわれていますが、「今年は特別にこれをヤルゾー」なんて殊勝な抱負は、残念ながら持ち合わせておりません。とはいえ、干支にとらわれることなく、プライベートに仕事に小さな目標を設定し、クリアしていきたいと思っています。今年前半は、プライベートでの資格取得の一環として、大型自動二輪免許に挑戦する予定です。また、昔から、干支の年はライフステージの変化の中での変化を感じやすくなると言われています。特に還暦(満60歳)の男性は厄年(数え61歳の本厄)が重なります。厄年では私自身も、気持ちは30歳くらいのつもりですが、身体の方(記憶力もですが)はやはりガタがきつつあるのを実感しています。やっかいな災厄に遭わないように、年相応に心身の健康に気を付けたいと思っています。



年 女 の 抱 負

県庁支部 吹 屋 貞 子

(環境保健センター)

私の頭の中では、百くらいまでの数には位置があって、いつも決まった連なり方をしており、数字を考えるとその位置を見ている感じがあります。他の人も皆似たような感じがあるのかと思っていたらそうでもないようで、最近、これは数の概念と空間知覚の間の共感覚であるらしいことを知りました。人に話すと「数の絶対音感みたいだね」と言われたことがあり、何となく数学が得意な感じに誤解されそうですが、虚数等イメージできない概念が出てくると苦しくなって、数学は苦手です。

数の感覚のことを書いたのは、年齢を考える時にもその位置がはっきり想起されることからです。前回の年女、48歳はまだ人生の中ほどにいるように見えますが、60歳となるともう人生後半で終わりのほうが近いことが見えます。今までもたいしたことはできなかったしこれから先もたいしたことはないだろうなぁと思ったり、強く願い努力をしてもうまくいかないことを嘆く時もありますが、小さなこと、身近なこと、今現在を大事にして、過ごしていきたいと思えます。

最後になりましたが、新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。



年男を迎えて

山口支部 原田 康 隆
(あさひ動物病院)

山口市小郡のあさひ動物病院の原田です。4回目の年男を迎えました。義理の父と娘も年男、年女で3世代の年男、年女になりました。

昨年は、家族に猫を3頭迎えて、今は6頭の猫と同居しています。若い3頭と、今までいた3頭で別々の部屋で暮らしていますが、若い3頭はヤンチャ盛りで、やりたい放題で大変です。3頭のうち2頭は兄弟で、もう1頭は後から来たのですが、今では3頭が仲良く寄り添って寝ています。子供たちにも懐いて、家族の中で一番懐かれていないのは僕です。僕の事は、飼い主ではなく仲間だと思っているのか、ご飯を食べていると、僕のだけ横取りしようとしてきます。先日も、非常用のカップうどんやお菓子を食べられていました。飼い主さんには、「猫ちゃんが食べないように気を付けてくださいね。」とは言いますが、うちの子達も気が付いたら食べているので、飼い主さん達の気持ちが痛い程よくわかりました。

本年もよろしくお願い致します。新しい年が皆様にとって実りの多い1年でありますようにお祈り申し上げます。



年男を迎えて

岩柳支部 弘 中 健 人
(柳井農林水産事務所畜産部)

年男として執筆のご縁をいただきましたので、最近感じたことを書こうと思います。

私の実家はお寺(浄土真宗本願寺派)であり、土日は袈裟に着替えて自坊の手伝いをしています。門徒さん(檀家さん)の家に回り、お勤めをしてお話をします。そこでよく話題になる内容が「最近、腰が悪くなった」「疲れやすくなった」「病気になった」など。老いと病の話が多いです。しかしほとんどの方が表情は明るく、否定的な印象を受けません。それどころか「調子はどうか」と私の方に声をかけて元気付けてくれます。

さて、私は門徒さんの老いや病の話聞いた時、恥ずかしいことに自分は健康でよかったと思ってしまいました。しかしそれは老いや病を受け入れていない自分の存在を知ることでありました。生老病死とはかつてお釈迦さまが説かれた娑婆における逃れられない苦しみであり、それを前向きに受け入れている門徒さんの偉大さに私の方が子育てをいただくことになりました。

皆それぞれ何が起こってもおかしくない毎日を過ごしています。当たり前が当たり前ではなく、ありがたいものだと感じる日暮らしをしたいものです。



年男の抱負

山口支部 遠 藤 泰 治
(山口農林水産事務所畜産部)

段々と寒くなってまいりましたが、いかがお過ごしでしょうか。

ありきたりかもしれませんが、来年度の抱負は仕事と家庭の両立です。

仕事についてですが、小職は病性鑑定室に所属する家畜保健衛生所の職員です。令和3年5月から、病性鑑定室所属の者が対象となる長期研修で茨城県つくば市の動物衛生研究所にお世話になっています。研修内容は病理学で、家保に戻れば病理担当になります。小職は学生時代、病理研究室の所属ではなかったため、研修開始時点で病理の知識・技術ともに不十分な状態からのスタートでした。この文章を書いている時点でそろそろ研修は終わりそうですが、まだまだ知識・技術の両方について不十分と感じますので、研修が終わってからも勉強し精進していきたいと思っています。

家庭についてですが、令和3年1月に娘が誕生し、3か月ほど妻と一緒に子育てをしていました。ですが5月からは単身赴任で長期研修に参加したため、育児に協力できておりません。新型コロナの関係であまり地元に戻ることもできませんでした。研修が終わり地元に戻ってからは育児にも専念していきたいです。

来年度は新たな担当業務と育児で大変になるとは思いますが、それらを上手く両立させることを今後の目標にしたいと考えております。



年 男 の 抱 負

宇部厚狭支部 網本 宏 和
(アミカペットクリニック)

皆様、新年あけましておめでとうございます。

アミカペットクリニックの網本宏和です。今年で3回目の年男を迎えるわけですが、これまでは年男という言葉あまり意識せずに過ごしてきました。振り返ると2回目の年男の年は大学6年生で卒業論文や国家試験勉強など充実した一年を過ごしていました。早いもので12年が経ち、獣医師1年目は何もできず頭を抱えながら仕事をしていたことを懐かしく思います。

そして、現在では2人の子供に恵まれ幸せな4人家族で3回目の年男の年を迎えられたことを嬉しく思います。今年はまだこれまで通り自分の得意分野である整形外科分野を頑張ると共に、皆様の暖かいご支援で成り立っている歯科診療にも一層力を入れて頑張ろうと思います。4度目の年男を迎える時には、36歳の年男で飛躍できたと振り返ることができるように日々勉強を続けていきたいと思えます。

日本における新型コロナウイルスの発生状況は海外と比較すると落ち着きを見せている中、新たなオミクロン株の出現によりこの先どのようなことになるか不透明な部分がありますが、皆様のご健康をお祈りして年男の挨拶とさせていただきます。

今後ともどうぞよろしくお祈りいたします。



年 男 の 抱 負

宇部厚狭支部 小川 祐 生
(アミカペットクリニック)

あけましておめでとうございます。アミカペットクリニックで勤務医をしている小川祐生です。この度は年男・年女の抱負ということで、拙筆ながら書かせていただきます。

さて、今年寅年ということで、虎という強いイメージがあります。では寅年の私はというと、虎などとはおこがましい、良くて「しましまとらのしまじろう®」くらい大人しいことを是として生きてきた人間です。しかし、そろそろ一皮むけて、虎のように生きてみてもよいのかもしれない。今年知識に、手術手技に、研究のネタに、まさに虎視眈々、獲物を見つけては喰らい見つけては喰らい、挑戦(トライ)と変身(トランスフォーム)の一年にしていければと思います。・・・虎ネタは以上になります。

さて、現在、私は診療の傍ら大学院で勉強させていただいております。研究テーマは口腔鼻腔癌の診断法で、昨年発表しているフルオレセインナトリウムを用いた通水試験は、多くの人の役に立つ方法ではないかと自負しています。これからもお役に立てるよう精進して参りますので、よろしくお祈りいたします。

皆様におかれましても、よい一年となりますようお祈り申し上げます。

令和3年度獣医公衆衛生講習会開催報告

獣医公衆衛生部会 殿河内 英 雄
(山口県生活衛生課)

12月12日(日)、山口市の防長苑で令和3年度獣医公衆衛生講習会が開催されました。

今年は、「多頭飼育問題や高齢動物の問題行動等の予防と対策」について、日本獣医生命科学大学の水越美奈教授にご講演をいただきました。

獣医公衆衛生講習会は、例年、市民公開講座として実施することとしており、当日は、会員の先生方他、一般住民や動物愛護団体の方36名を含む、62名の出席をいただきました。

講師の水越先生は、大学卒業後、7年間動物病院にて小動物臨床に従事された後、渡米され、獣医行動治療学を学ばれました。帰国後は、行動クリニック開業、国立身体障害者リハビリテーションセンター研究所を経て、日本獣医生命科学大学獣医学部で現職に就かれました。

また、環境省の中央環境審議会動物愛護部会の委

員を務められており、動物愛護管理法の改正にも携わっておられます。

講習会の前半は、しばしば、マスコミ報道され、社会問題となる多頭飼育崩壊についてお話しされました。

多頭飼育に陥ってしまう飼育者の多くは、不妊去勢手術を行っておらず、過繁殖状態に陥ることにより生じるが、根底には、動物の生態についての知識の不足だけでなく、経済的な問題や精神疾患等による適切な判断力の欠如した事例もあるということでした。

また、多頭飼育崩壊に対する対応は、行政機関の動物管理部局だけでなく、社会福祉関係者や動物愛護ボランティア等の関与も必要であると説明されました。

私自身、いくつかの多頭飼育崩壊事例を見てきま

したが、飼育者は、いずれも高齢に伴う貧困や精神疾患など、福祉サービスを受ける方でした。多頭飼育崩壊を未然に防止するためには、動物管理部局と社会福祉部局が連携し、過繁殖状態になる前に対応することが必要であることを再認識しました。

後半は、高齢動物の問題行動についての講演でした。

人の認知症との共通点を踏まえ、犬の認知機能不全症候群（cdfs）の症状の分類、具体的な身体症候、発症しやすい品種や危険因子について説明されました。病的には、人のアルツハイマーとは異なり、脳の加齢が重度に進行した状態と考えられるとのこ

とでした。

また、視覚や聴覚の衰えた高齢期の犬のためにできる嗅覚を使った遊び道具の作り方などをわかりやすく解説していただきました。

今回の講習会は、一般市民にも向けた内容としていただきましたが、一般の飼主のみならず、動物愛護団体の視点からも今後の参考となったのではないかと思います。また、多頭飼育問題については、動物愛護団体の方にも協力していただく必要がありますが、今回の講習会で、一定の共通認識を持つことができ、非常に有意義なものとなりました。



お久しぶりです

岩柳支部 弘中由子

(柳井農林水産事務所畜産部)

岩柳支部の弘中由子です。日々の徒然を綴りたいと思います。

私のここ数年のテーマは「時短と効率化」で、それは現在でも続いております。キッチン用品では食器洗い乾燥機、ホットクックを導入し、食器洗いとみそ汁・カレーの調理を機械にお任せしました。洗濯では、ドラム式洗濯乾燥機に替え、洗濯物は干さないことにしました。洗剤は洗浄力が最も高いといわれる粉剤にし、洗濯マグちゃんとの併用で洗剤の節約も叶いました。掃除の全自動化も画策しています。最近では掃除機だけでなく、雑巾がけまでする機種もあるようで、日々のメンテナンスも簡単にかなうものを採用したいと思います。

仕事、育児、家事と、下手をすると「やらなければならないこと」に追われて一日が終わってしまうので、3人目の子供が生まれた後、自分が心から「やりたいこと」は何かをじっくりと考え、今はハンドメイドにどっぷりとはまっています。来年から一番上の子供が小学生になるので、その入学準備の手提げ袋、巾着、連絡帳入れ、マスクから始めて、

ヘアアクセサリ、リボンリース、ロゼットにも手を出しています。

もし入学準備でお悩みの方、気になった方はお作りしますので、ご連絡ください。

昨年9月に3人目が1才になり、仕事復帰させていただいてからは、ますますハンドメイドの時間が確保しにくくなりましたが、上達するために毎日少しでも生地や資材に触るようにしています。

目標は、子供が大きくなった時、「お母さんはいつも好きなことしてたよね」と言われることです。人生は楽しいし、それは与えられるものではなく、自分で探して掴むものだという事を背中を示したいです。ただ、自分が楽しみたいだけです・・・写真は、最近作ったピンクッションです。

そして、もう一枚は久しぶりに撮った家族写真です。新型コロナウイルスの影響でお出かけする機会も、写真を撮る機会も減り、撮ってもこのようなマスク姿です。これも数年後には良い思い出になるのでしょうか。



令和3年度第2回小動物部会委員会の開催

常務理事 酒 井 理

令和3年11月25日(木)14時から、県獣医師会館2階会議室において、第2回小動物部会委員会を開催しましたので、概要を報告します。

開催にあたり、田中会長理事から、平素からの本会の事業推進への協力等に対する謝意が示され、○鹿児島県出水市等で高病原性鳥インフルエンザが発生し、関係会員は気が抜けない状況であること。○11月に開催した産業動物講習会では、山口大学共同獣医学部の協力を得て、オンラインにより酪農学園大学阿部教授の貴重な講演を聴くことができたこと。○12月に開催予定の獣医公衆衛生講習会は、小動物部会の会員にも参考になる「多頭飼育」や「高齢動物」がテーマであること。○小動物部会員に關係の深い「愛玩動物看護師法」と「マイクロチップ(以下「MC」という。)」についての、日本獣医師会のオンライン説明会が開催されたこと等を旨とする挨拶がありました。

続いて、小動物部会の黒屋勉部会長の司会進行により、協議が進められました。

まず、今年度の**狂犬病予防注射実施状況**については、集合注射が26,741頭、9月末までの個人注射が20,744頭となり、集合注射頭数が昨年に比べて127頭増加したこと等を説明しました。

次に、**令和4年度集合注射の市町協定**については、理事会で、来年度の集合注射料金が現行とおりの2,500円とすることが承認されたことを報告しました。

指定獣医師の新規指定及び解除については、関係支部長から3名の新規指定と4名の解除の報告があったことを説明し、全会一致で3名の指定が承認されました。

狂犬病予防啓発ポスターについては、徳山大学のなかはらかぜ先生を通じて学生に作画を依頼した図案、配付数について了承が得られ、来年1月中に関係機関等に配付することとなりました。

SFTS症例の集積については、10月に再度各動物病院に協力を依頼し、今年度県内で5件の陽性事例があり、その臨床症状等を本会ホームページに掲載したことを説明しました。

小動物講習会の開催については、第1回講習会は、令和4年1月16日(日)に、動物眼科専門クリニックの辻田裕規先生の「獣医眼科診療の検査法と眼科疾患へのアプローチ」についての講演とし、第2回は、3月に「麻酔」をテーマとした講習会を開催する予定であることを説明しました。

愛玩動物看護師法については、日本獣医師会のオ

ンライン説明会資料に基づき、○愛玩動物看護師になるための予備試験が令和4年11月、国家試験が令和5年2月に予定されていること。○動物病院等で5年以上の実務経験がある者は、講習会を受講した後に予備試験を受験し、合格した者が国家試験を受験することができるが、期限が限られており、令和9年4月末までに予備試験に合格する必要があること。○実務経験は、雇用契約に基づき業務に従事した期間であり、例えば週1日の勤務形態でも5年間あれば認められること。○連続して5年の勤務でなくても、業務に従事した期間が通算5年以上あればよいとされていること。○国家資格を持たない動物看護師は、令和4年11月から、「看護」等を含む呼称が使えなくなること。○現在の動物看護師が講習会の受講、予備試験や国家試験の受験に円滑に対応できるよう、雇用者である獣医師は支援する必要があること。○愛玩動物看護師国家試験及び予備試験の試験を実施する(一財)動物看護師統一認定機構が、受験を希望する者の事前情報登録を行っていること等について説明しました。

また、本会独自の取組みとして、動物病院を対象に、愛玩動物看護師法に関するアンケート調査を実施することについて了承されました。

MC装着・登録義務化については、○来年6月の改正動物愛護管理法の施行により、販売される犬猫のMC装着・登録が義務づけられること。○環境省は、これまで日本獣医師会が推進してきたA I P Oとは別の法定登録制度を構築する計画であり、新たな制度では、獣医師による情報検索ができないこと。○犬猫の繁殖業者からMCの装着を依頼された獣医師は、装着の際にMC装着証明書を発行することになること。○犬猫繁殖業者、ペットショップ、一般所有者それぞれが指定登録機関である日本獣医師会に所有者登録・変更登録等の手続きが必要となること。○MCの装着・登録を狂犬病予防法の犬の登録と見なせる「ワンストップサービス」は、参加を希望した市町のみにも適用され、参加を希望しない場合は従前どおりの対応となること。○MCの指定登録機関である日本獣医師会は、地方獣医師会にMCに関する業務を委託することは想定されていないこと等について説明しました。

「愛玩動物看護師法」、「MC」ともに未確定な部分が多く、本会から日本獣医師会に意見照会することもできますので、会員の皆様、ご不明な点は、遠慮なく事務局にご相談ください。


お知らせ

令和3年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会

対面開催が取りやめとなり、オンラインで開催されます。

- 1 開催方法 WEBによるオンデマンド動画配信
- 2 配信期間 令和4年1月21日(金)～2月6日(日)
- 3 参加方法 参加登録用ホームページからの事前登録

令和3年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会ホームページ：<http://jvma2022.umin.jp/index.html>

 令和3年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会プログラム

令和3年度小動物講習会(中国地区)

中国地区獣医師会連合会の小動物講習会が開催されます。

- 1 日時 令和4年2月27日(日)10時～16時
- 2 場所 松江市市民活動センター(島根県松江市)
- 3 演題及び講師 演題「痒み本番を迎える前に、皮膚科の治療アップデート」
講師 アジア獣医皮膚科専門医 獣医学博士 村山信雄先生
- 4 対象 中国地区各県獣医師会会員(参加費 無料)
- 5 参加申込 令和4年2月14日(月)までに、島根県獣医師会に申し込んでください。
[会場参加] メール又はFAXに次の事項を記入して、島根県獣医師会事務局に送信
(Email: sva@amethyst.broba.cc FAX: 0852-24-2925)
①所属獣医師会名②氏名③勤務先④所在地又は住所⑤連絡先⑥講師への質問
[Web参加] 島根県獣医師会ホームページの問い合わせフォームに次の事項を記入の上、送信
(URL: <http://www.s-va.or.jp>)
①氏名②メールアドレス③メッセージ欄に「所属獣医師会名」「Web参加希望」
「勤務先」「所在地又は住所」「連絡先」「講師への質問」

記事の訂正

会報第727号令和3年12月掲載記事に次のとおり誤りがありました。お詫びして訂正します。

3ページ右欄27行目 誤:「リスクが約20%低下」 → 正:「リスクが約20%増加」

事務局だより

- | | | | |
|--------|----------------------------|-----------|-------------------------------|
| 12月7日 | ・会計事務所協議(県獣会館) | 12月12日 | ・ペットとの同行避難訓練(山陽小野田市 山口東京理科大学) |
| 12月7日 | ・会館電気工事(県獣会館) | 12月15日 | ・日本獣医師会会長会議(Web会議) |
| 12月8日 | ・電気保安点検(県獣会館) | 12月16日 | ・日本獣医師会理事会(東京 明治記念会館) |
| 12月10日 | ・狂犬病予防啓発ポスター作成協議(周南市徳山大学) | 12月21日 | ・会報編集委員会(県獣会館) |
| 12月12日 | ・獣医公衆衛生講習会(市民公開講座)(山口市防長苑) | 12月9日、23日 | ・事業推進会議 |

次回編集委員会 1月25日(火) 13:30～

山口県獣医師会会報 第728号 令和4年1月10日(毎月1回発行)

発行所 (公社)山口県獣医師会(〒754-0002 山口県山口市小郡下郷1080-3)

電話 (083) 972-1174 FAX (083) 972-1554

e-mail: yama-vet@abeam.ocn.ne.jp

<http://www.yamaguchi-vet.or.jp>

編集責任者 上田晋平

発行責任者 田中尚秋

印刷 コロニー印刷